

# 水の週間一斉打ち水大作戦 in 国土交通省

水管理・国土保全局水資源部水資源政策課



竹歳事務次官

打ち水はじめ！

平成23年8月2日（火）昼休みに、中央合同庁舎3号館正面玄関前にて「水の週間一斉打ち水大作戦」国土交通省」を実施しました。国土交通省の職員の手作りによる「打ち水」イベントも、今年で8回目となり、夏の恒例行事として知られるようになってきました。平成21年度から「水の日」「水の週間」に併せた「水の週間一斉打ち水大作戦」として取り組んでおり、今回の国土交通省で実施した取り組みも、その一つです。

打ち水は、原則として、お風呂の残り湯や下水再生水などといった二次利用水を活用するため、水資源の有効利用に結びついただけでなく、ヒートアイランド対策にも貢献する取り組みとして、近年見直され、注目を浴びています。

## みんなで打ち水

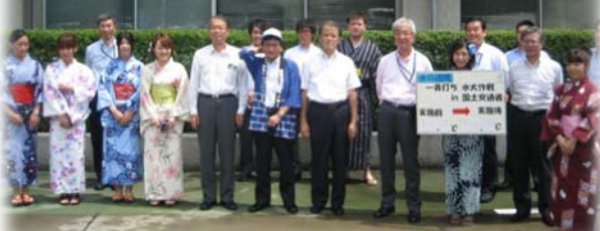


東京都下水道局キャラクター「アースくん」と一緒に

打ち水に使用する水は、東京都下水道局から下水再生水を約400リットルご提供いただくとともに、国土交通省内のお風呂の残り湯、約100リットルを準備しました。

当日は、竹歳事務次官をはじめとして約70名の職員が参加しました。準備中には曇っていた空も、打ち水実施前には晴れ間も見え、気温も30度を超えてまずまずの打ち水日和となりました。浴衣で参加した職員が約15名にもおよび大変賑やかな打ち水イベントとなりました。

## 涼しい風が吹き抜けました。



お風呂の残り湯



下水再生水

竹歳事務次官の「打ち水はじめ！」の号令とともに撒かれた水は、あつという間に広い駐車場を埋め尽くしました。

みんなで一斉に行った結果、実施前には32度だった温度が、10分程度の打ち水実施後、打ち水を実施していないところは34度、実施したところは33度で、実施したところの温度は、実施していないところと比べると1度下がったという結果になりました。また、打ち水を実施してから20分程度経過した時点で、実施したところの温度は31度まで下がり、会場には涼しい風が吹き抜けました。

皆様も打ち水を通じて水の大切さについて改めて考えてみてはいかがでしょうか。